

科目名	予防医学	教員名 新藤 愛	学科等	理学療法	必修	履修年次	4
(科目番号)	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	水2・学科事務室(新藤)	
授業概要	健康寿命を延伸するには、病気を治療することと病気にかからないための予防が必要である。理学療法の観点から、疾病や障害の治療を促すものに加え、疾病や老年症候群に対する予防の重要性を学修する。また、対象者それぞれが健康により行動を獲得していくための具体的な方法について理解を深める。						
目的・目標	目的: 疾病や障害・老年症候群に対する予防の重要性について、理学療法の観点から理解する。 目標: ①ロコモティブシンドローム・フレイル・サルコペニア・認知症の病態とその予防について理解できる。 ②メンタルヘルス・労働災害・栄養学といった今後、重要となるであろう分野について理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	予防理学療法学概説	到達目標: 予防理学療法学を必要とする背景と定義、および関わる制度を理解する。 学習内容: 成熟社会と人口構造の変化に伴う問題背景と予防の必要性について学ぶ。				
	2	予防理学療法の実際 1) ロコモティブシンドローム 2) サルコペニア予防	到達目標: ロコモティブシンドローム/サルコペニアの病態および評価を理解し、実践する。 学習内容: ロコモティブシンドローム/サルコペニアの定義と病態、アセスメント指標、トレーニング方法について学ぶ。				
	3	予防理学療法の実際 3) 再発予防	到達目標: 脳卒中・心疾患・呼吸器疾患の再発リスクと予防策を理解する。 学習内容: 脳卒中・心疾患・呼吸器疾患の再発リスクと予防策について学ぶ。				
	4	予防理学療法の実際 4) 労働災害(腰痛)	到達目標: 腰痛の社会的実態、病態および予防策を理解する。 学習内容: 腰痛の社会的実態、病態および予防策について学ぶ。				
	5	予防理学療法の実際 5) フレイル	到達目標: フレイルの病態および評価を理解し、実践する。 学習内容: フレイルの定義と病態、アセスメント指標について学ぶ。				
	6	予防理学療法の実際 6) 認知症予防	到達目標: 認知症の危険因子と予防策を理解する。 学習内容: 認知症の社会的実態、予防策について学ぶ。				
	7	栄養学からの予防	到達目標: 栄養・嚥下理学療法の定義と食事摂取基準を学び、低栄養と予防との関連について理解する。 学習内容: 食事バランスガイドと栄養アセスメントの活用および高齢者の低栄養について学ぶ。				
	8	メンタルヘルス／ ウィメンズ・メンズヘルス	到達目標: メンタルヘルス、ウィメンズ/メンズヘルスの定義を把握し、評価法とアプローチを理解する。 学習内容: ストレスコーピング、骨盤底筋機能低下に対するアプローチについて学ぶ。				
成績評価の方法・基準	対面時: 毎授業後の課題 (10%×8回=80%)、小テスト (10%×2回=20%)						
教科書	授業時に資料配布						
参考図書	予防理学療法学要論 フレイルの予防とリハビリテーション 予防理学療法学		大淵修一・浦辺幸夫 島田裕之 石川朗		医歯薬出版 医歯薬出版 中山書店		
教員からのメッセージ	毎授業後に課題あるいは小テストをおこないます。 課題あるいは小テストは成績評価点として加算されていく形式です。 課題・小テストは返却します。						